

2.10 木津川

(1) 水域の概要

淀川の支川である木津川はその源を三重、奈良の県境を南北に走る布引山脈に発し、笠置、加茂を経て山城盆地を貫通し、京都府・大阪市境付近で宇治川、桂川と共に淀川へと合流する流域面積1,596km²、幹川流路延長99kmの一級河川である。

(2) 水質の状況

1) 水域類型指定状況（図 10.1）

既存生活環境項目（BOD・COD・全窒素・全リン等の水生生物保全環境基準を除く項目）の水域類型指定状況は、木津川-1・木津川-2・木津川-3の3区域に分けられ、全域A類型に指定されている。

2) 水質汚濁状況（表 10.2、図 10.2～図 10.4）

BOD75%値の5年平均の比較図を見ると、木津川流入口（手原川・山田川）については1988～1992年度当時に比べて大幅に水質改善しており、他の地点については年度間の変化はほとんど無い。

3) 亜鉛の水質の状況（図 10.5～図 10.7）

全亜鉛はやや高めの地点があるが、概ね全般的に0.005mg/L程度となっている。

木津川本川における亜鉛排出事業所としては下水処理場・し尿処理場等、全体で13件存在しており、そのうち当該水域へ直接放流する事業所（PRTR対象事業所）は1件で、年度排出量が1000kg超・100kg超・10kg超・1kg超・1kg以下の順で見ると0件・1件・0件・0件・0件となっている（出典：平成18年度水質汚濁物質排出量総合調査データ、平成18年度PRTRデータ）

(3) 水温の状況（図 10.8～図 10.9）

公共用水域データの他に上流域の伊賀市の測定結果（平成18～19年度平均データ：年4回測定）を参考として示した。

これらデータを見ると大野木橋上流域では平均水温が概ね15℃以下であるが、下流へ向かうにしたがって高くなり、三川合流点前では平均水温が22℃程度となっている。

(4) 水域の構造等

1) 河床材料（図 10.10）

河床材料は、上流～名張川合流点までが砂・礫・石、名張川合流点～淀川合流点までは砂・礫が主体となっている。

2) 流量（図 10.11）

流量は笹瀬橋等3地点で測定されており、それぞれの低水流量は笹瀬橋で約7 m³/s、恭仁大橋で15m³/s、玉水橋で18 m³/s程度となっている。

3) 主な河川構造物（図 10.12）

堰やダム等については、上流から見ると大河原発電所取水井堰・相楽発電所取水井堰の2ヶ所が設置されているが、いずれにも魚道が設けられている。

(5) 魚介類の生息状況（表 10.1・表 10.3、図 10.13～図 10.14）

1) 冷水性の魚介類

(a) 基本情報

河川水辺の国勢調査等によると、冷水性魚介類は確認されていない。

(b) ヒアリング情報

表10.1のとおり。

2) 温水性の魚介類

(a) 基本情報

温水性の魚介類は全般的にオイカワ・ヨシノボリ等が確認されている。

(b) ヒアリング情報

表10.1のとおり。

3) その他関連情報

アユについては河川水辺の国勢調査（国土交通省）等によると、岩倉より下流で確認されている。

また、木津川においては上流～下流にかけて内水面の漁業権が設定されており、上流ではアユ・アマゴ・オイカワ・マス・イワナ、中流ではアユ・アマゴ・フナ・ウナギ・オイカワ、下流ではアユ・フナ・ウナギ・オイカワの放流事業が実施されている。

表10.1 魚介類生息状況に関する学識者や漁業関係者へのヒアリング結果概要（木津川）

項目	上流	中流	下流
魚介類の生息に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> ●全川的にはコイ、フナ、カワムツ、オイカワ、アユ、ヨシノボリ類が多い（岐阜経済大学森教授）。 ●代表的及び特徴的な魚介類としてアユ・アマゴ・オイカワ・コイ・マス等があげられる（伊賀漁協）。 ●アマゴは伊賀市、名張市上流渓流域および支流（岐阜経済大学森教授）、旧青山町地区の上流部（伊賀川漁協）に生息している。 ●コイ、フナ類は旧青山地区の下流部（旧上野市地区・旧島ヶ原村地区）に生息している（伊賀漁協）。 ●三重県伊賀市下流の岩倉峡が自然の魚類相の区分点になると思われる（岐阜経済大学森教授）。 	<ul style="list-style-type: none"> ●全川的にはコイ、フナ、カワムツ、オイカワ、アユ、ヨシノボリ類が多い（岐阜経済大学森教授）。 ●代表的及び特徴的な魚介類としてアユ、コイ、フナ、ウナギ、オイカワ等があげられる（木津川漁協）。 ●イワナ・ヤマメ類等は中流域に生息していない（木津川漁協）。 ●コイ、フナ類は中流全域に生息している（木津川漁協）。 	<ul style="list-style-type: none"> ●全川的にはコイ、フナ、カワムツ、オイカワ、アユ、ヨシノボリ類が多い（岐阜経済大学森教授）。 ●代表的及び特徴的な魚介類としてコイ・フナ等があげられる（京淀川漁協）。 ●イワナ・ヤマメ類は下流域には生息していない（京淀川漁協）。 ●コイ、フナ類は下流全域に生息している（京淀川漁協）。

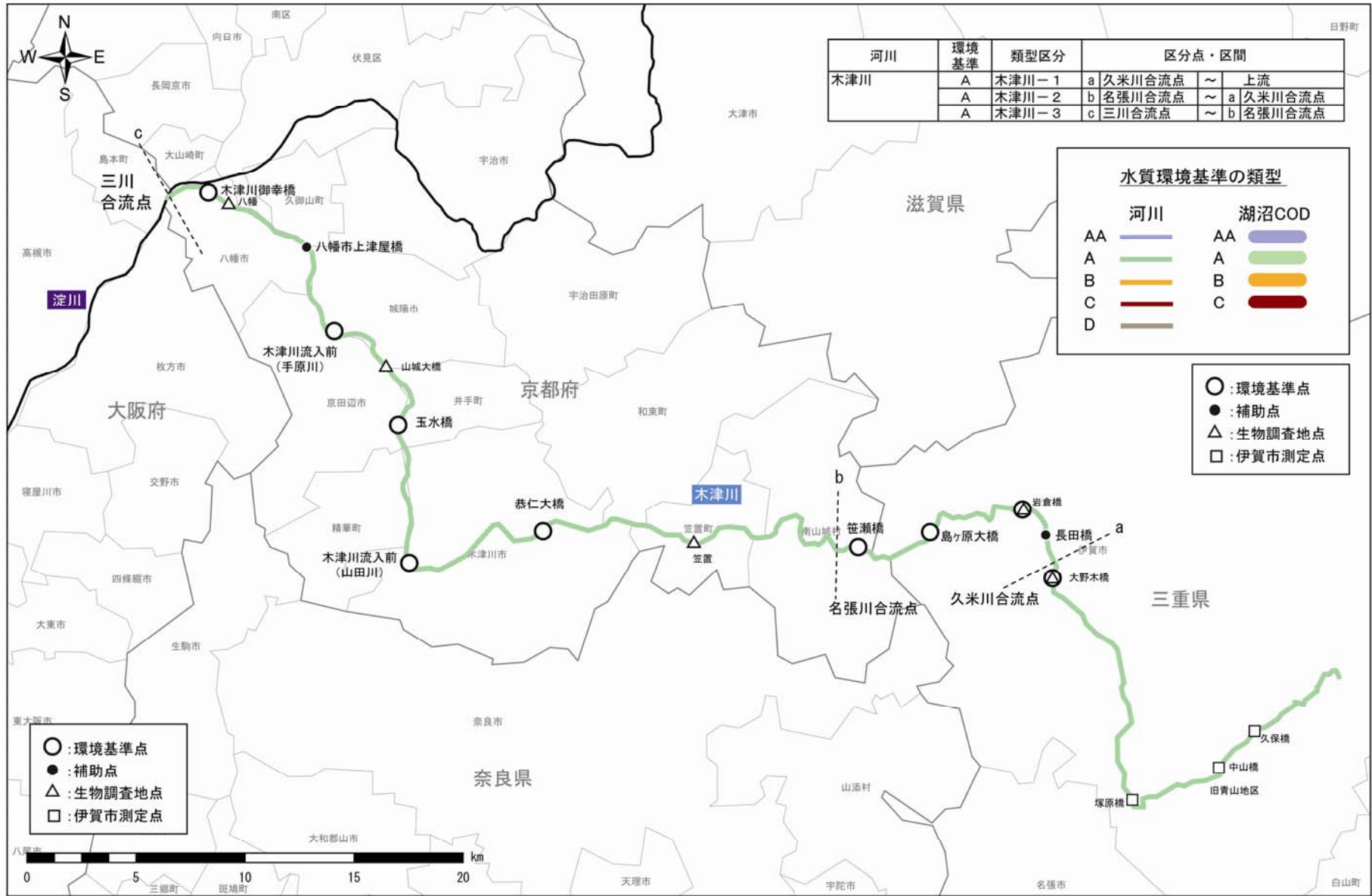


図10.1 水質汚濁に係る環境基準の類型指定状況（木津川）

表10.2 近年の水質状況（木津川）

水域	類型	環境基準点	年度	BOD(mg/L)				基準	pH			DO(mg/L)				基準	SS(mg/L)				基準	大腸菌群数(MPN/100mL)				基準
				最小値	最大値	平均値	75%値		最小値	最大値	基準	最小値	最大値	平均値	基準		最小値	最大値	平均値	基準		最小値	最大値	平均値	基準	
木津川-1	A	大野木橋	H16	0.6	1.7	1.1	1.2	2	7.1	7.6	6.5~8.5	8.2	13.0	10.0	7.5	1	6	3	25	490	110,000	27,000	1,000			
			H17	0.5	2.9	1.3	1.7		7.2	7.6		8.3	14.0	11.0		1	12	5		790	130,000	25,000				
			H18	0.6	1.5	0.9	1.1		7.1	7.6		8.1	12.0	10.0		1	12	5		490	230,000	37,000				
木津川-2	A	長田橋	H16	1.0	2.2	1.6	2.1	2	7.0	7.5	6.5~8.5	8.4	13.0	10.0	7.5	1	8	4	25	1,300	49,000	19,000	1,000			
			H17	0.8	3.1	1.6	2.2		7.5	7.6		8.3	14.0	11.0		2	15	6		1,300	49,000	20,000				
			H18	0.8	1.4	1.1	1.3		7.4	7.6		9.3	12.0	11.0		1	14	6		940	23,000	11,000				
木津川-2	A	岩倉橋	H16	0.6	2.8	1.6	1.9	2	7.2	7.6	6.5~8.5	8.6	13.0	10.0	7.5	1	6	3	25	2,200	170,000	49,000	1,000			
			H17	1.0	3.4	1.9	2.5		7.2	7.6		7.8	13.0	11.0		1	13	4		1,400	230,000	42,000				
			H18	0.8	1.8	1.3	1.5		7.3	7.7		8.1	13.0	10.0		1	11	3		2,200	1,100,000	110,000				
木津川-2	A	島ヶ原大橋	H16	0.9	2.3	1.4	1.5	2	7.3	7.8	6.5~8.5	8.0	14.0	10.0	7.5	1	7	4	25	2,800	220,000	39,000	1,000			
			H17	0.9	3.5	2.0	2.5		7.4	7.8		8.3	13.0	10.0		1	14	5		1,700	79,000	17,000				
			H18	0.9	2.0	1.3	1.5		7.4	7.7		7.9	12.0	10.0		1	13	4		3,300	700,000	76,000				
木津川-2	A	笹瀬橋	H16	0.9	2.6	1.6	1.8	2	7.4	7.9	6.5~8.5	8.3	14.0	10.0	7.5	1	8	4	25	3,300	46,000	17,000	1,000			
			H17	1.0	3.1	1.9	2.2		7.5	8.0		8.3	14.0	11.0		1	18	5		1,100	130,000	23,000				
			H18	0.9	1.7	1.3	1.5		7.5	8.0		7.9	13.0	10.0		1	12	4		2,200	49,000	14,000				
木津川-3	A	恭仁大橋	H16	0.7	1.7	1.0	1.2	2	7.4	8.3	6.5~8.5	8.2	14.0	11.0	7.5	2	7	4	25	350	13,000	5,300	1,000			
			H17	0.7	5.0	2.2	2.7		7.4	8.3		9.1	14.0	11.0		1	7	3		46	13,000	3,800				
			H18	0.6	1.5	0.9	1.1		7.4	8.9		8.0	15.0	11.0		1	6	3		230	11,000	3,000				
木津川-3	A	木津川流入前 (山田川)	H16	1.7	3.2	2.5	3.2	2	6.4	7.7	6.5~8.5	9.7	12.0	11.0	7.5	2	13	7	25	170	17,000	5,700	1,000			
			H17	1.3	4.4	2.8	3.3		6.6	7.8		7.8	12.0	10.0		2	26	8		7,000	49,000	28,000				
			H18	2.1	3.3	2.6	3.0		6.8	7.3		9.2	13.0	11.0		4	7	6		3,300	13,000	7,400				
木津川-3	A	玉水橋	H16	0.5	2.4	1.2	1.4	2	7.2	8.3	6.5~8.5	7.6	14.0	10.0	7.5	1	6	3	25	33	14,000	5,600	1,000			
			H17	0.6	4.1	1.8	2.3		7.4	8.3		9.7	14.0	11.0		1	7	3		79	17,000	4,200				
			H18	0.5	1.6	1.0	1.3		7.3	9.3		7.8	15.0	11.0		1	6	3		140	9,400	3,800				
木津川-3	A	木津川流入前 (手原川)	H16	1.9	3.0	2.5	2.6	2	7.2	8.1	6.5~8.5	9.1	14.0	11.0	7.5	<	1	2	25	110	17,000	6,100	1,000			
			H17	2.2	4.7	3.2	4.7		7.1	8.4		8.0	14.0	11.0		1	1	1		2,700	79,000	32,000				
			H18	—	—	—	—		—	—		—	—	—		—	—	—		—	—	—		—		
木津川-3	A	木津川御幸橋	H16	0.5	1.4	1.0	1.3	2	7.2	8.4	6.5~8.5	7.3	13.0	9.6	7.5	3	20	10	25	79	49,000	8,200	1,000			
			H17	0.6	3.2	1.7	2.2		7.4	8.5		7.0	13.0	10.0		2	40	9		79	79,000	7,000				
			H18	<	0.5	1.5	1.0		1.1	7.4		9.4	6.7	14.0		9.7	5	16		10	110	23,000		5,700		

出典：公共用水域水質測定結果（平成16～18年度）

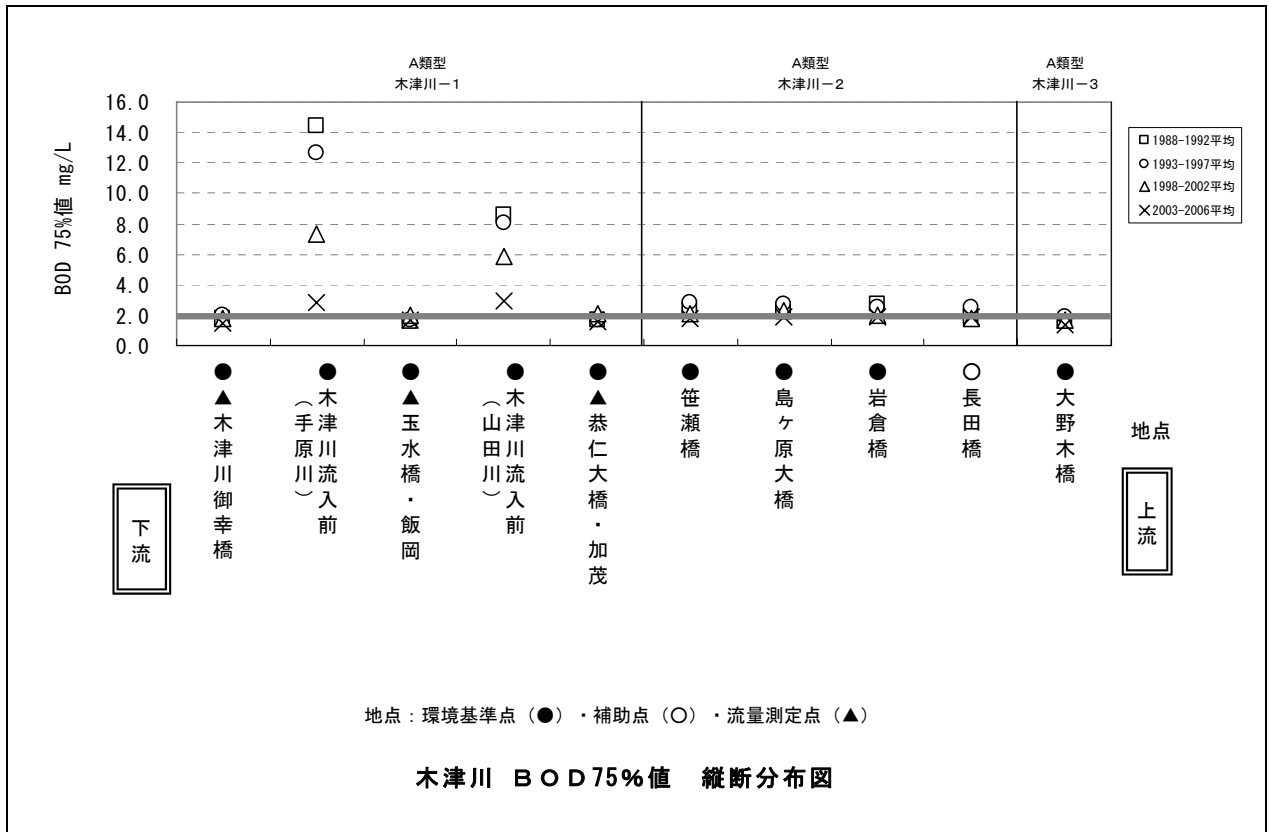


図10.2 BOD75%値の縦断分布図（木津川）

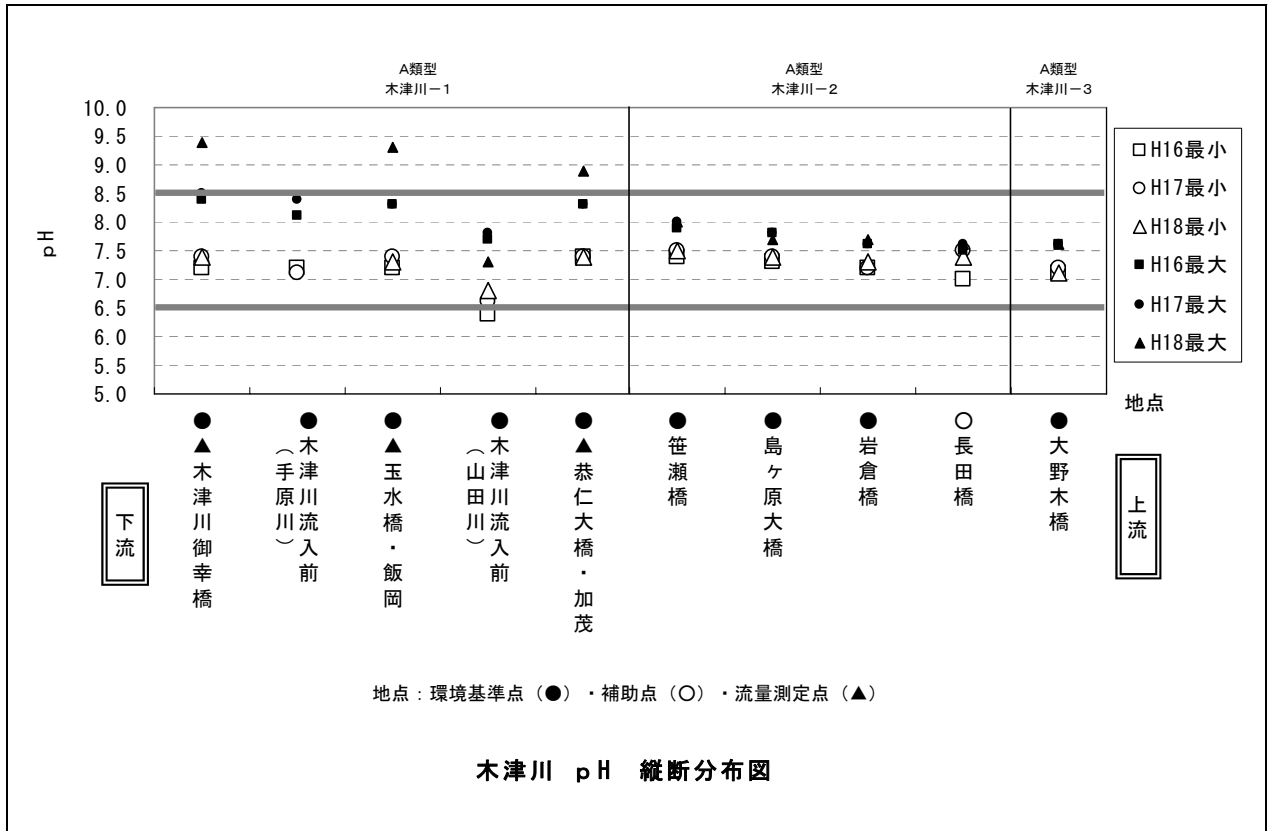


図10.3 pHの縦断分布図（木津川）

出典：公共用水域水質測定結果

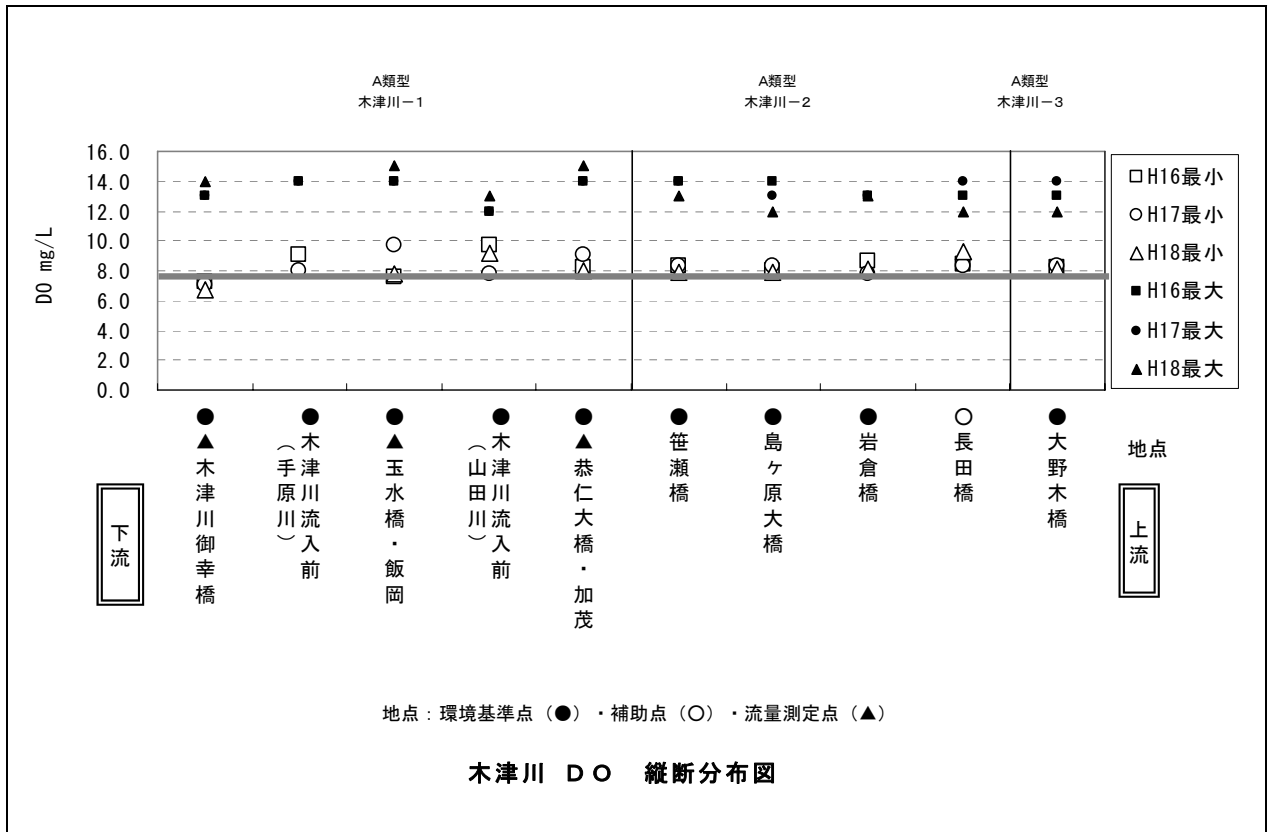


図10.4 DOの縦断分布図（木津川）

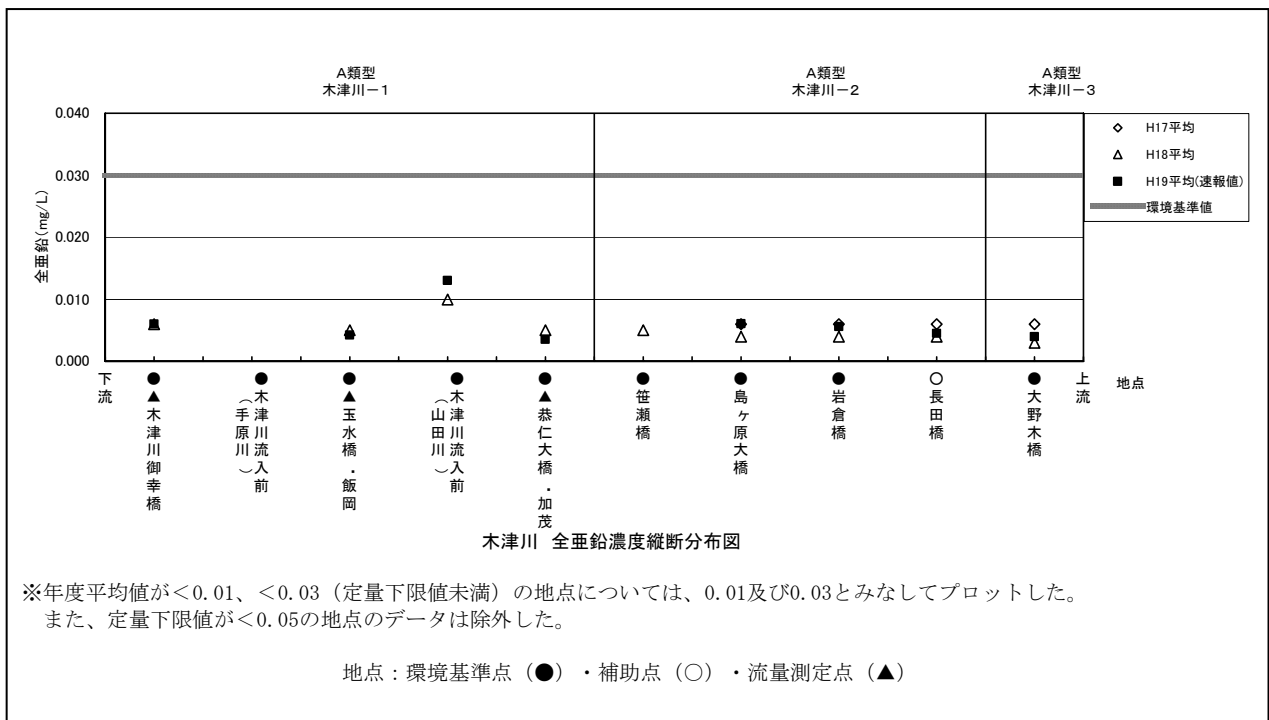


図10.5 全亜鉛の縦断分布図（木津川）

出典：公共用水域水質測定結果

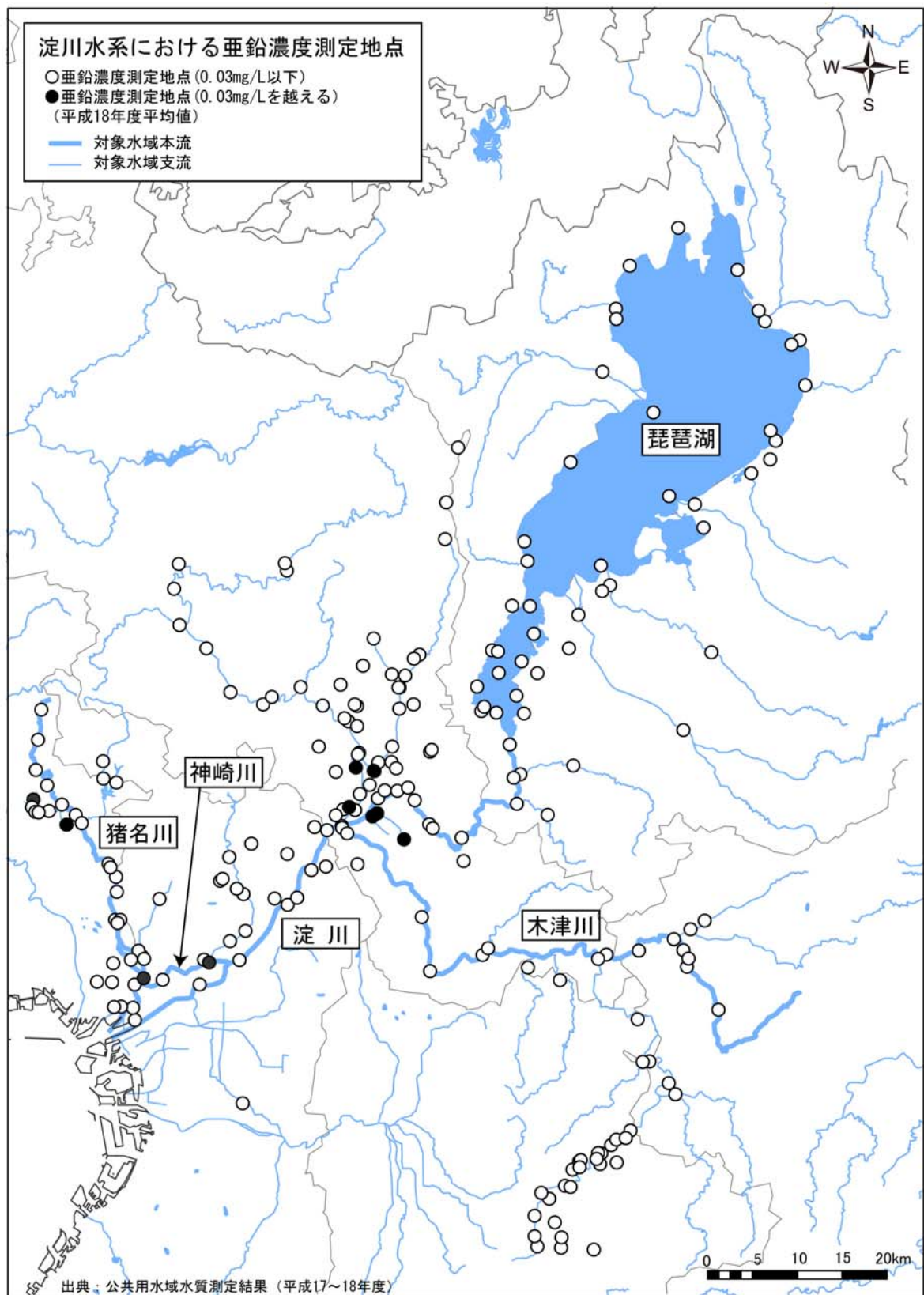


図10.6 亜鉛測定地点（木津川）

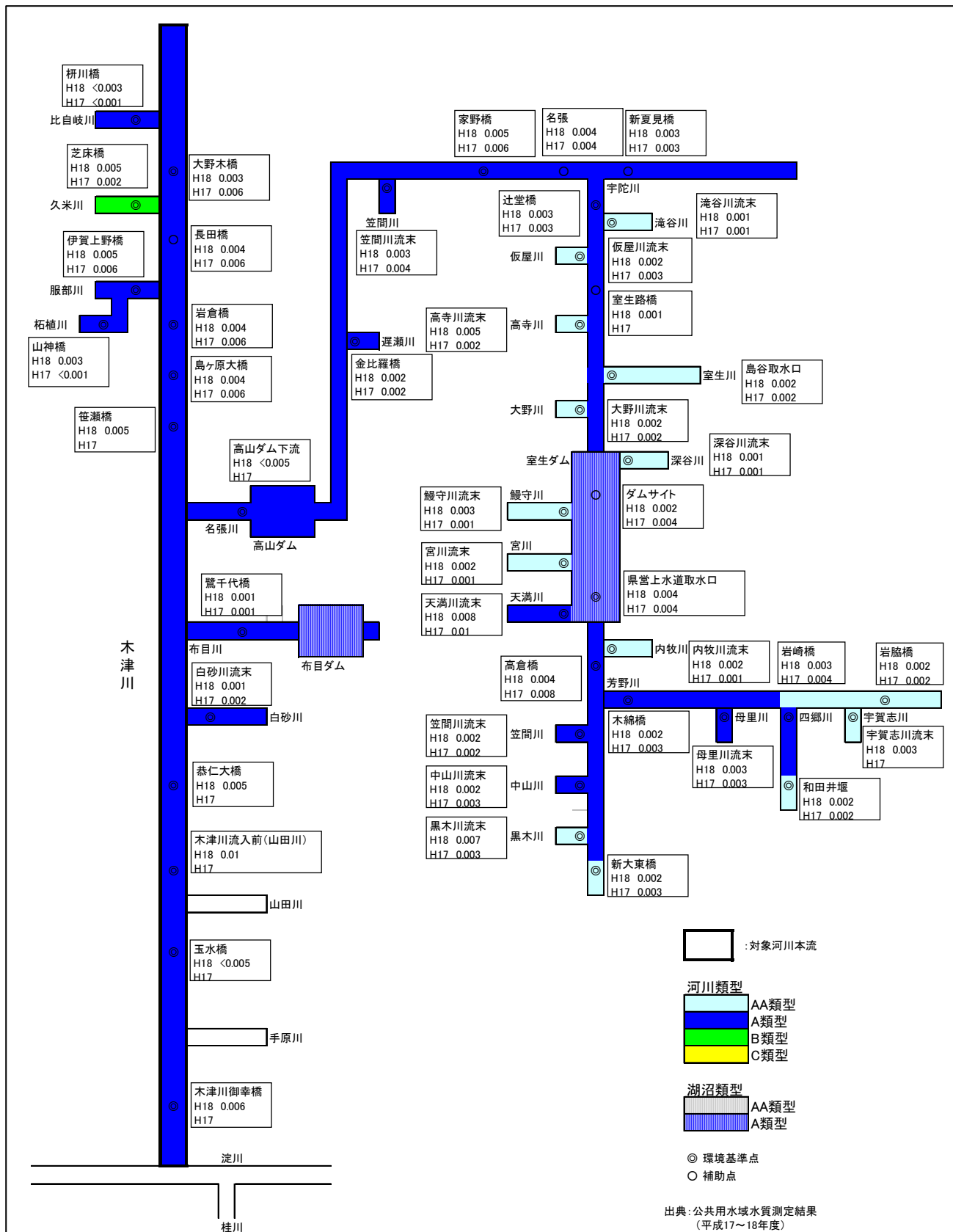
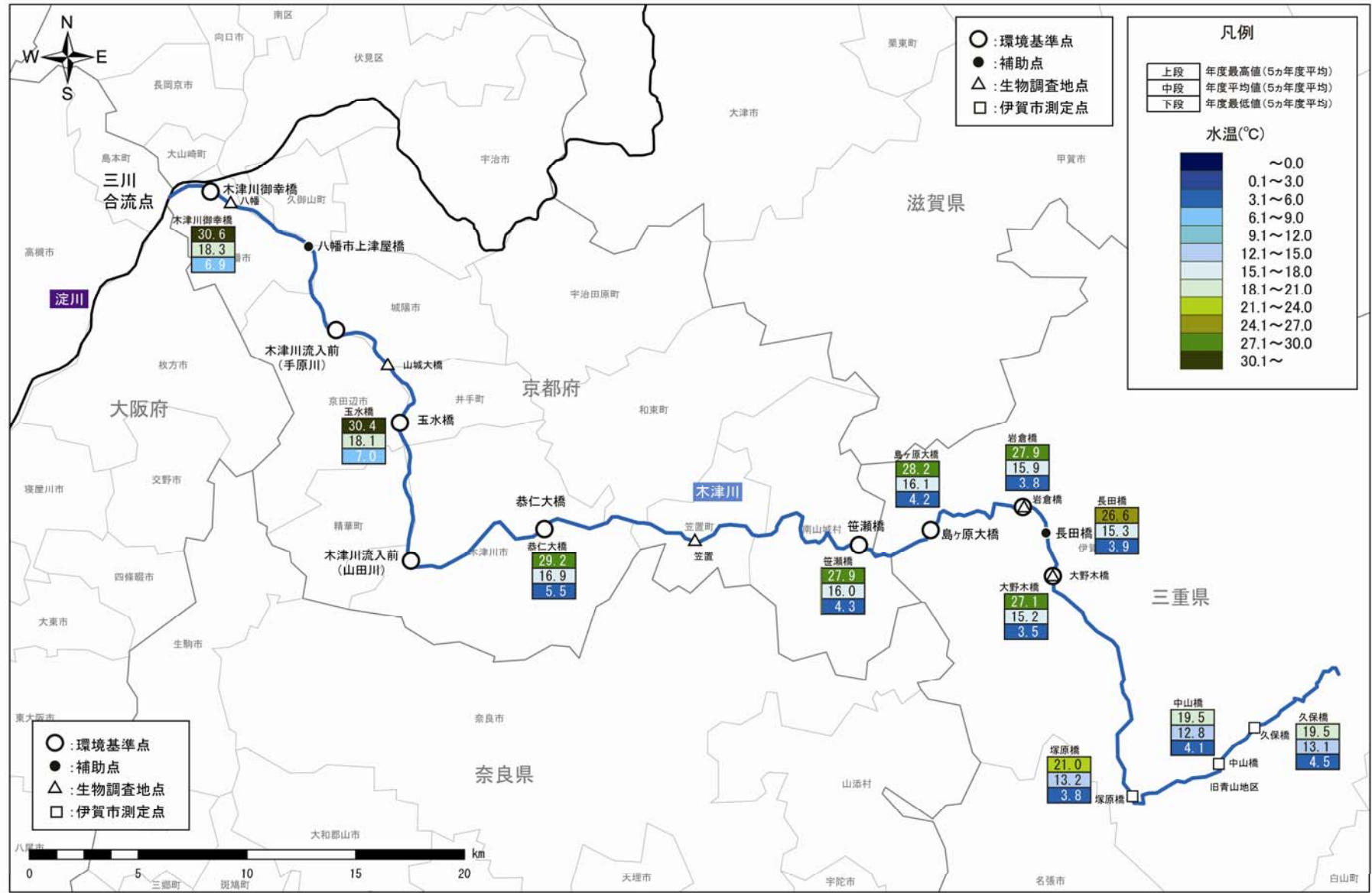


図10.7 亜鉛分布図（木津川）



出典：公共用水域水質測定結果（平成14～18年度）
伊賀市水質測定結果（平成18～19年度）

図10.8 水温の分布図（木津川）

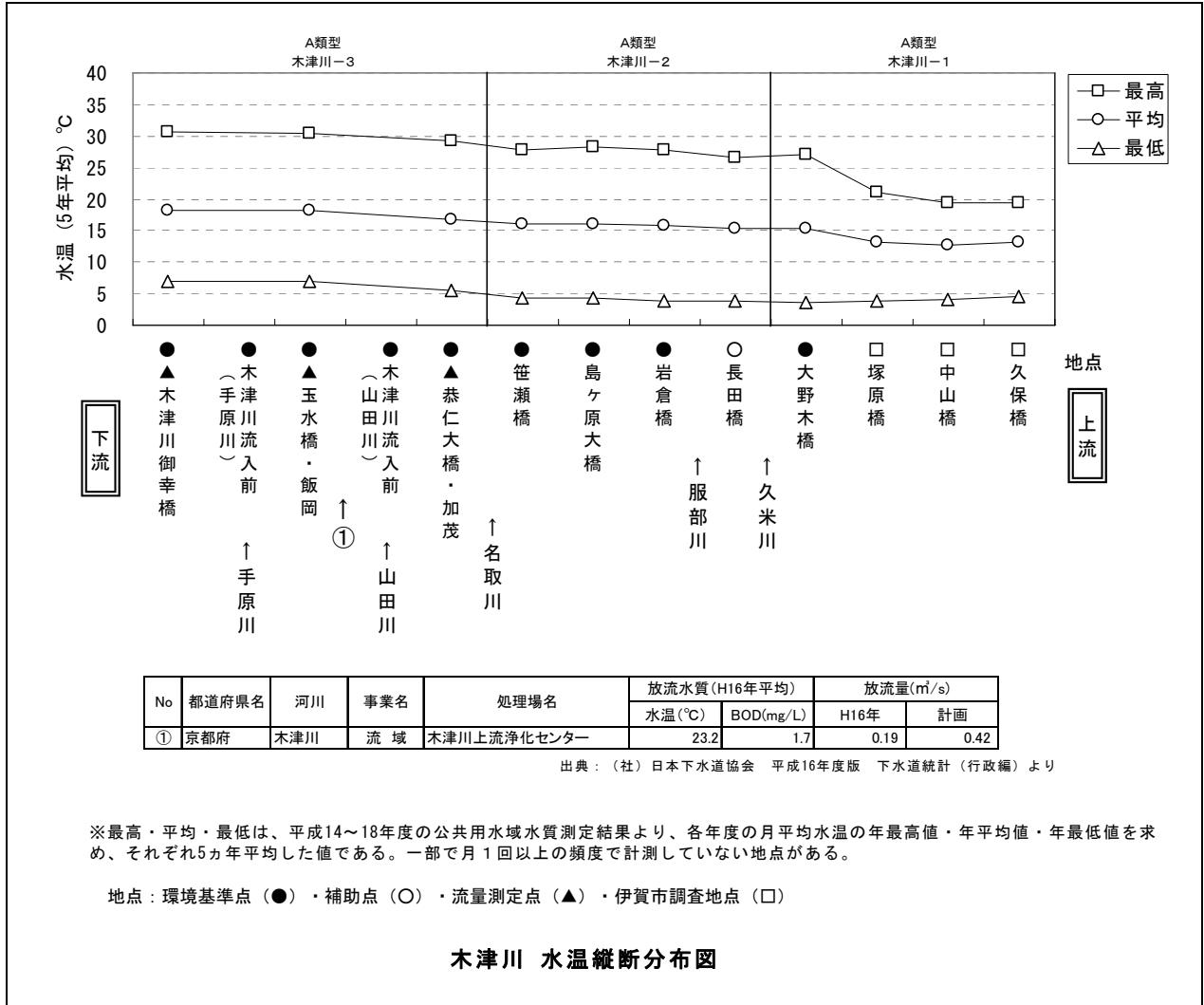


図10.9 水温の縦断分布(木津川)

出典：公共用水域水質測定結果等

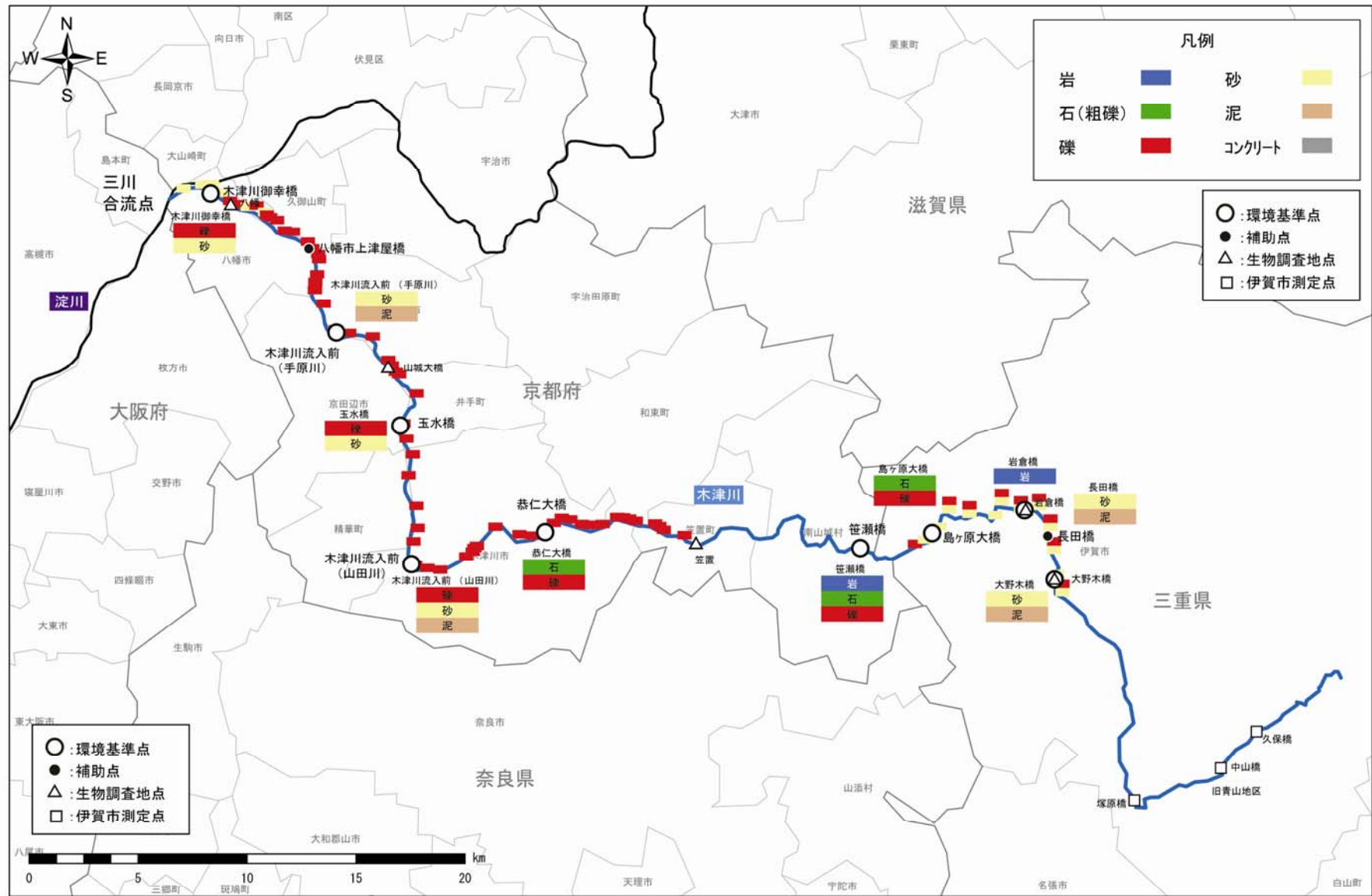


図10.10 河床材料図(木津川)

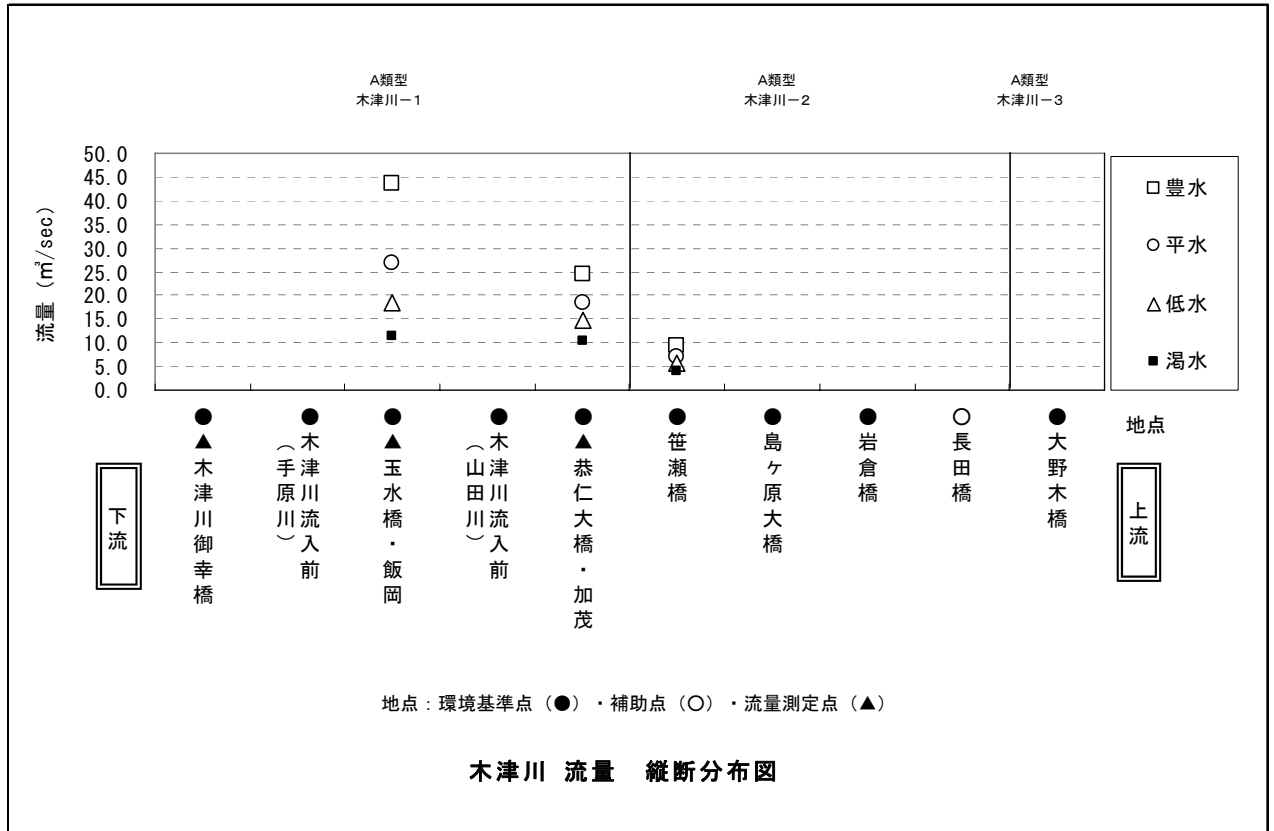


図10.11 流量の縦断分布図 (木津川)

出典：流量年表

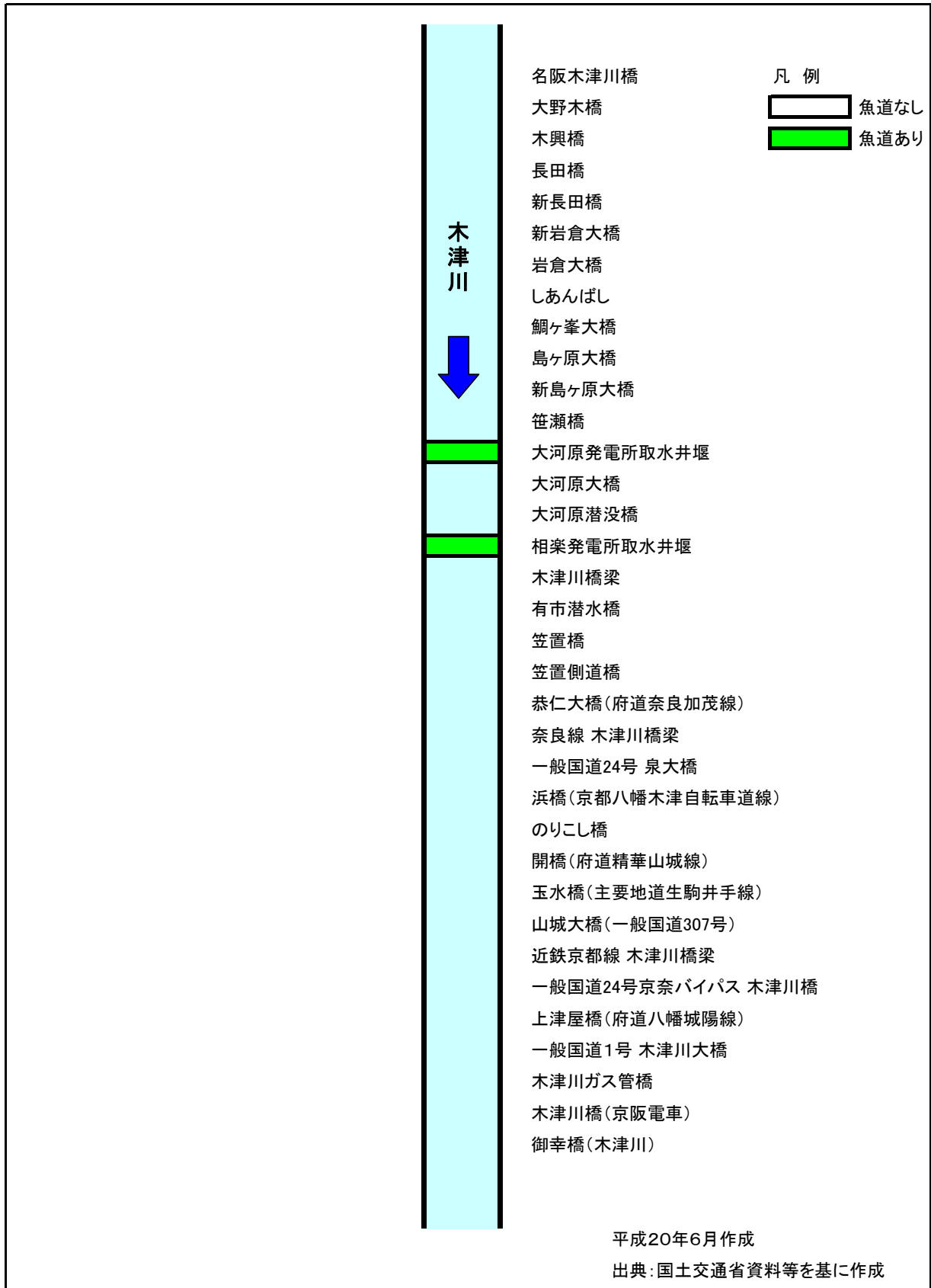


図10.12 主な河川横断工作物（木津川）

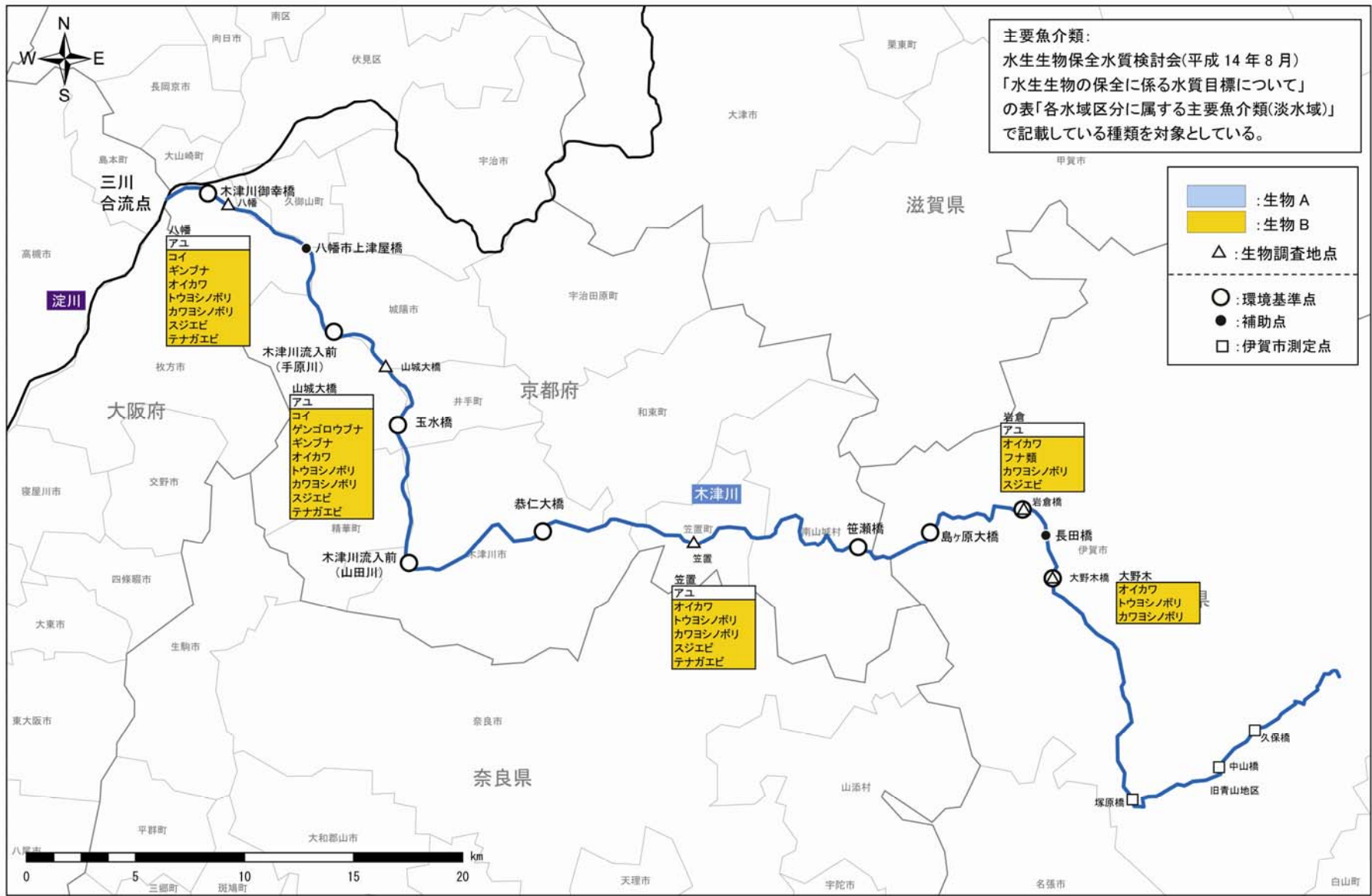
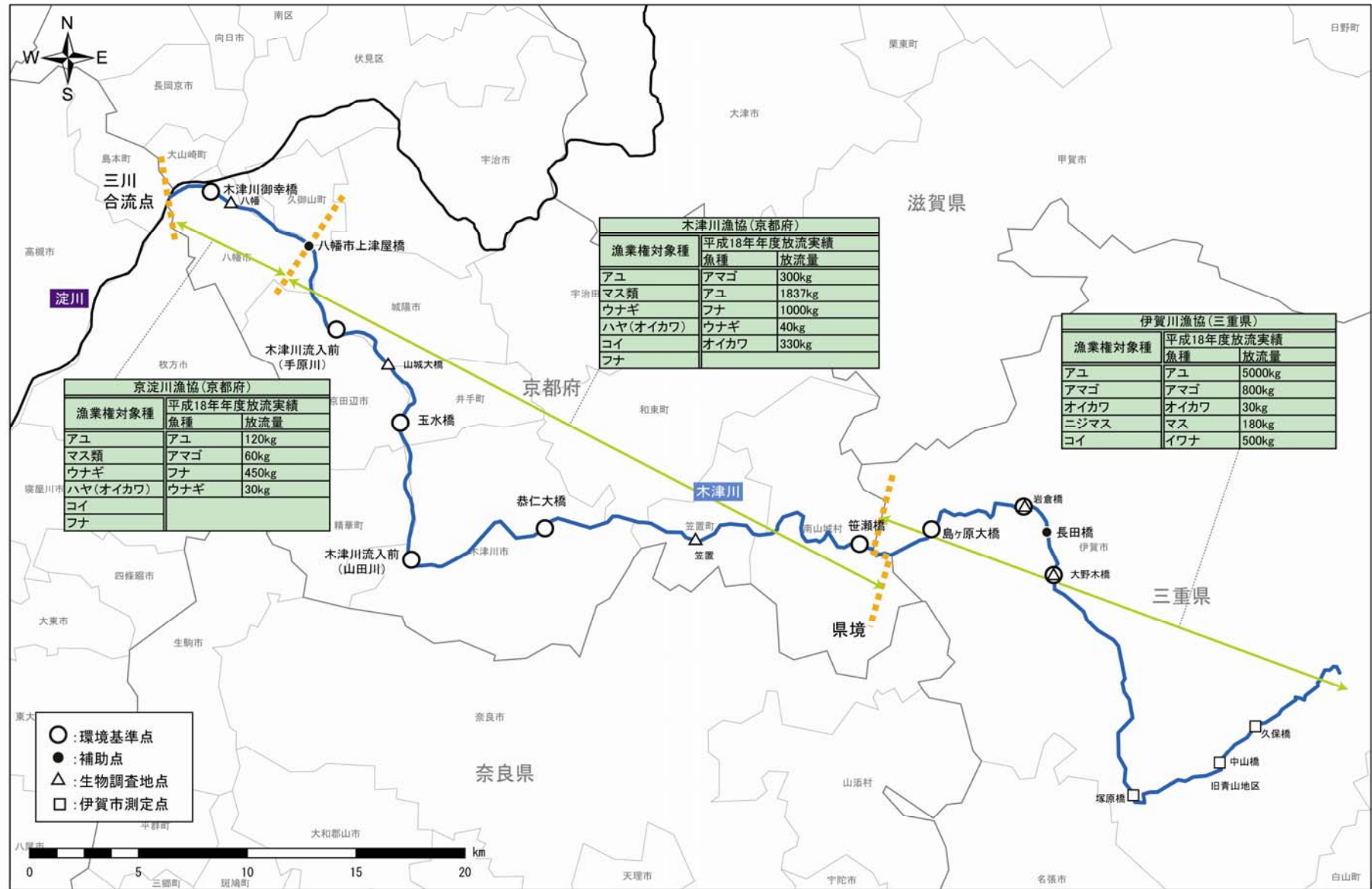


図10.13 主要魚介類の確認状況 (木津川)

表10.3 主要魚介類の確認状況（既存調査結果）（木津川）

項目・分類・科・種名				調査地点					
				1	2	3	4	5	
				八幡	山城大橋	笠置	岩倉	大野木	
出典・調査時期				国土交通省 河川水辺国 勢調査	国土交通省 河川水辺国 勢調査	国土交通省 河川水辺国 勢調査	国土交通省 河川水辺国 勢調査	国土交通省 河川水辺国 勢調査	
				平成16年度 (5・10-11 月)	平成16年度 (5・10-11 月)	平成16年度 (5・10-11 月)	平成16年度 (5・8・10 月)	平成16年度 (5・8・10 月)	
生物A	魚類	アユ科	アユ	○	○	○	○		
生物B	魚類	コイ科	コイ	○	○				
		コイ科	ゲンゴロウフナ		○				
		コイ科	ギンブナ	○	○				
		コイ科	オイカワ	○	○	○	○	○	
		コイ科	フナ属 (Carassius) の数種				○		
		ハゼ科	トウヨシノボリ	○	○	○		○	
		ハゼ科	カワヨシノボリ	○	○	○	○	○	
		テナガエビ科	スジエビ	○	○	○	○		
		テナガエビ科	テナガエビ	○	○	○			
		軟体類	シジミ科	マシジミ					○
その他	魚類	コイ科	タイリクバラタナゴ	○	○				
		コイ科	カワムツ		○	○		○	
		コイ科	モツゴ	○	○		○		
		コイ科	カワヒガイ					○	
		コイ科	ムギツク				○	○	
		コイ科	カマツカ				○	○	
		コイ科	ニゴイ				○	○	
		コイ科	ニゴイ属(Hemibarbus)の数種	○	○	○			
		ギギ科	ギギ				○	○	
		サンフィッシュ科	ブルーギル	○	○	○	○	○	
		サンフィッシュ科	オオクチバス(ブラックバス)	○	○	○		○	
		ハゼ科	ヌマチチブ		○	○			
		タイワンドジョウ科	カムルチー					○	
		タニシ科	オオタニシ					○	
		タニシ科	ヒメタニシ				○		
		カワニナ科	カワニナ				○	○	
		カワニナ科	チリメンカワニナ				○	○	
		サカマキガイ科	サカマキガイ				○		
		甲殻類	ヌマエビ科	ミナミヌマエビ	○	○	○		○
			ヌマエビ科	ヌマエビ				○	○
			アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ				○	○
			サワガニ科	サワガニ				○	



出典:三重県,京都府資料・平成18年度ヒアリング調査・平成19年度ヒアリング調査より

図10.14 漁業権設定状況・放流状況(木津川)